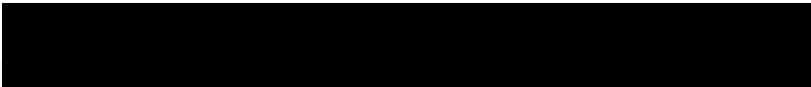


新潟市長 様

旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係る
アスベスト含有調査

報 告 書

令和2年1月



新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	①有孔石膏ボード		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	体育館棟 1階 天井		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリンタイル	-	含有なし	備考(1)
アモサイト	-	含有なし	備考(1)
クロシドライト	-	含有なし	備考(1)
トレモライト	-	含有なし	備考(1)
アクチノライト	-	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	-	含有なし	備考(1)
-以下余白-			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	①有孔石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	体育館棟 1階 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

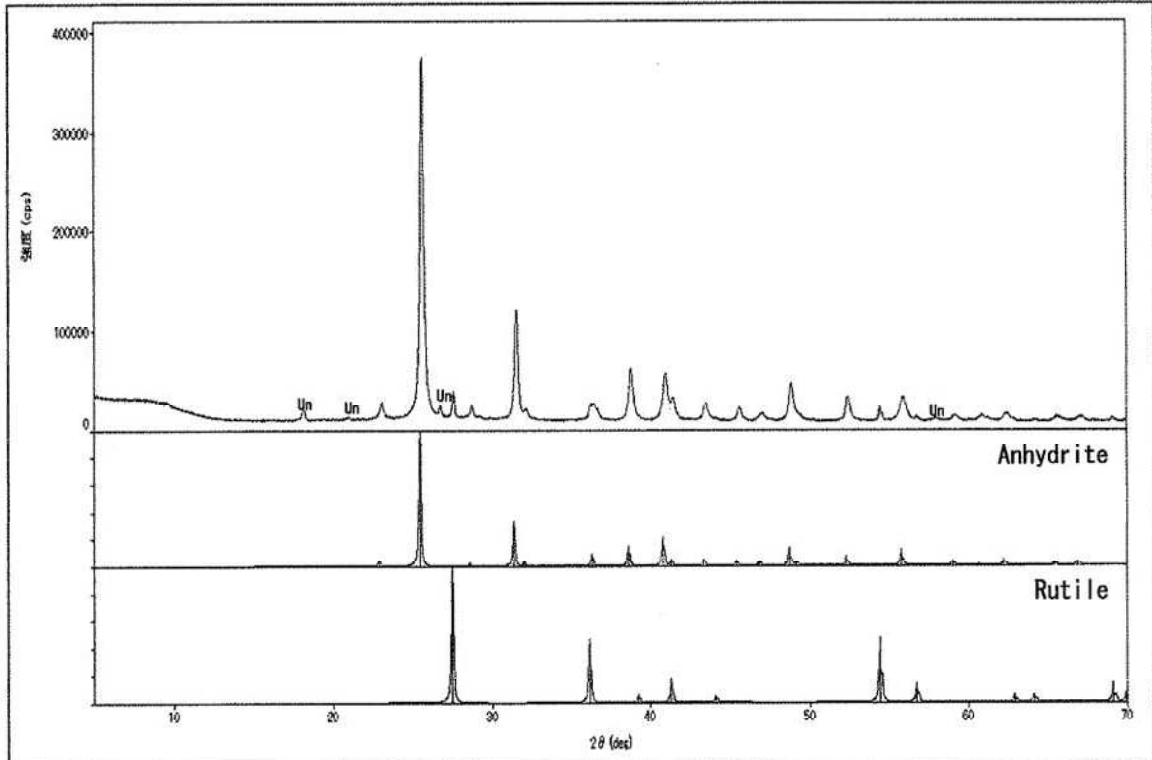
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	①有孔石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	体育館棟 1階 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	①有孔石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	体育館棟 1階 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.6°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	28
2	105	1000	0	30
3	108	1000	0	25
合計	315	3000	0	83

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	322	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	310	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	308	3000	0	0

試料名	①有孔石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	体育館棟 1階 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	311	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	110	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	320	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	②石膏ボード		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	別館 1階 トイレ 天井		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	②石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 トイレ 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40X/0.75

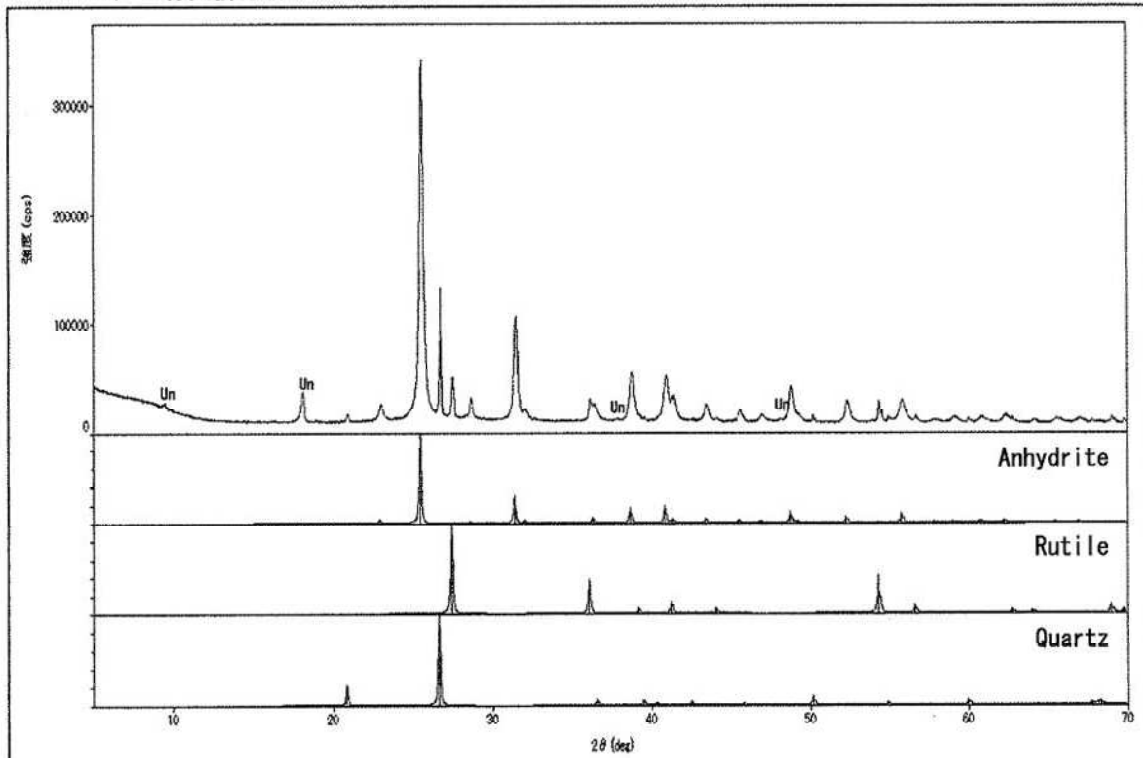
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	②石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 トイレ 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	②石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 トイレ 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.6°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	18
2	107	1000	0	21
3	103	1000	0	14
合計	311	3000	0	53

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	110	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	322	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

試料名	②石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 トイレ 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	310	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	③穴あきプラスターボード		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 2階 図書館 天井		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロソドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	③穴あきプラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 図書館 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

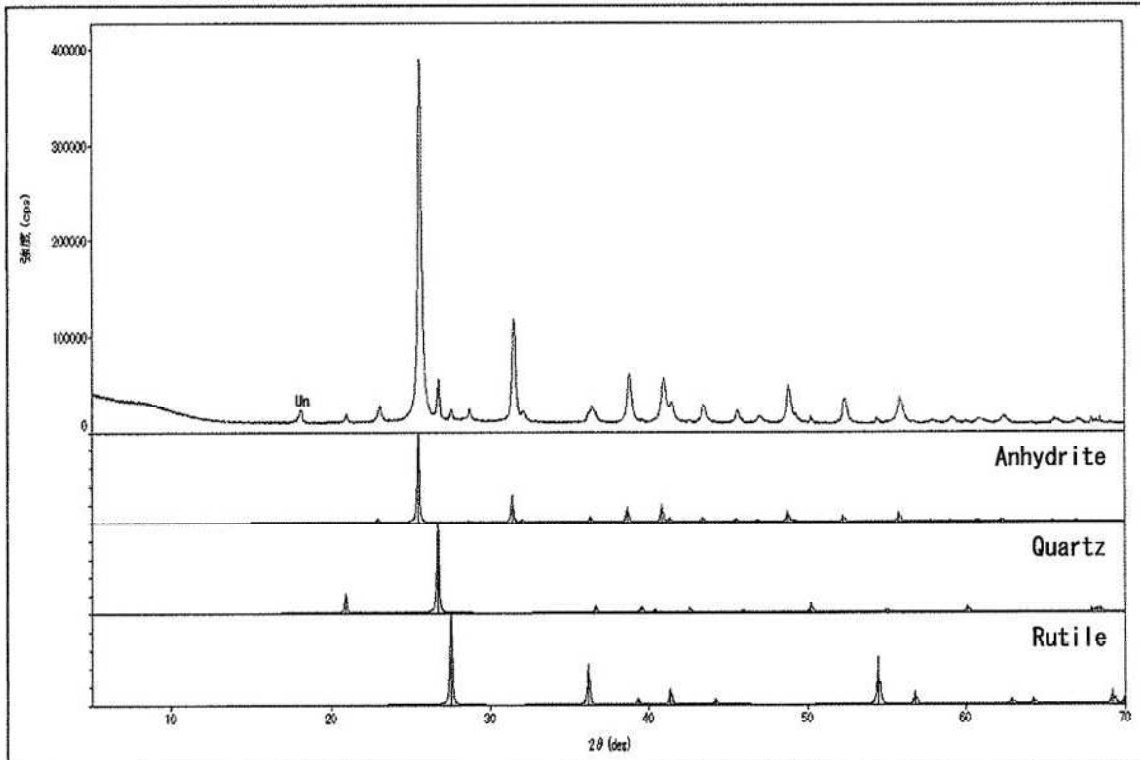
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	③穴あきプラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 図書館 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	③穴あきプラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 図書館 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.8°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	21
2	108	1000	0	15
3	101	1000	0	12
合計	314	3000	0	48

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	307	3000	0	0

試料名	③穴あきプラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 図書館 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	④ロックウール吸音板		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 2階 児童お話し室 天井		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリンタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	④ロックウール吸音板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 児童お話し室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称 及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の 製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μm	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

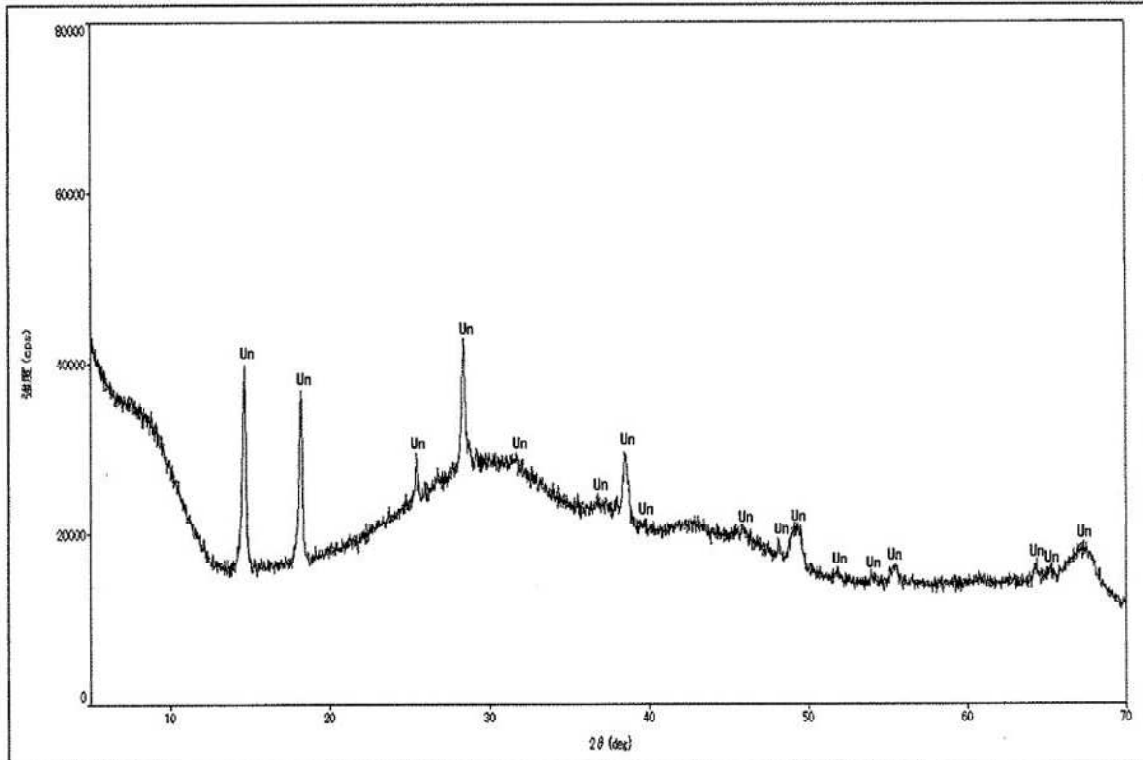
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	$5^{\circ} \sim 70^{\circ}$

試料名	④ロックウール吸音板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 児童お話し室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	④ロックウール吸音板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 児童お話し室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.7°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	11
2	109	1000	0	8
3	103	1000	0	7
合計	315	3000	0	26

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	320	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	325	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

試料名	④ロックウール吸音板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 児童お話し室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	324	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	アスベスト含有の有無
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任

試料名	⑤ケイ酸カルシウム板			
施設名	旧北部総合コミュニティセンター			
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1			
採取箇所	本館 4階 調理実習室 天井			
採取年月日	令和元年12月23日			
採取者	検査機関			
特記事項				
	石綿	単位	定性結果	試験の方法
	クリンタイル	-	含有	備考(1)
	アモサイト	-	含有	備考(1)
	クロシドライト	-	含有なし	備考(1)
	トレモライト	-	含有なし	備考(1)
	アクチノライト	-	含有なし	備考(1)
	アンソフィライト	-	含有なし	備考(1)
	-以下余白-			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査			

試料名	⑤ケイ酸カルシウム板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

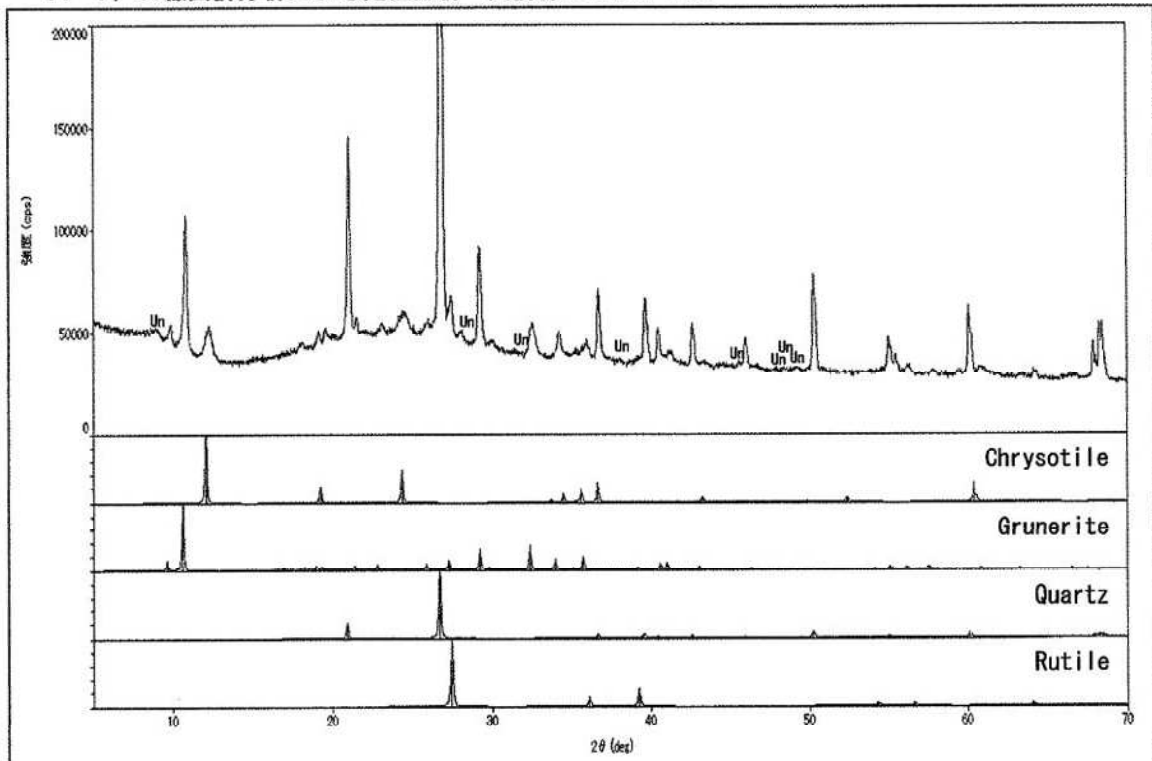
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	⑤ケイ酸カルシウム板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile: クリソタイル Grunerite: アモサイト Riebeckite: クロシドライト
Tremolite/Actinolite: トレモライト/アクチノライト Anthophyllite: アンソフィライト
Calcite: カルサイト Quartz: 石英 Tridymite: トリジマイト Cristobalite: クリストバライト
Vermiculite: パーミキュライト Hydrobiotite: ハイドロバイオタイト Brucite: ブルーサイト
Sepiolite: セピオライト Chlorite: クロライト Mica: マイカ Illite: イライト Feldspar: 長石
Anhydrite: 硬石膏 Rutile: 酸化チタン Lizardite: リザルダイト Un: 未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	有
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑤ケイ酸カルシウム板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.6°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	19	91
2	106	1000	26	87
3	104	1000	28	85
合計	313	3000	73	263

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	24	2
2	103	1000	21	4
3	101	1000	27	1
合計	308	3000	72	7

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	310	3000	0	0

試料名	⑤ケイ酸カルシウム板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 天井
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	110	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	有
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	有	73	有	クリソタイル含有
アモサイト	有	72	有	アモサイト含有
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑥ビニルクロス		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	別館 1階 102 壁		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロソドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑥ビニルクロス
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

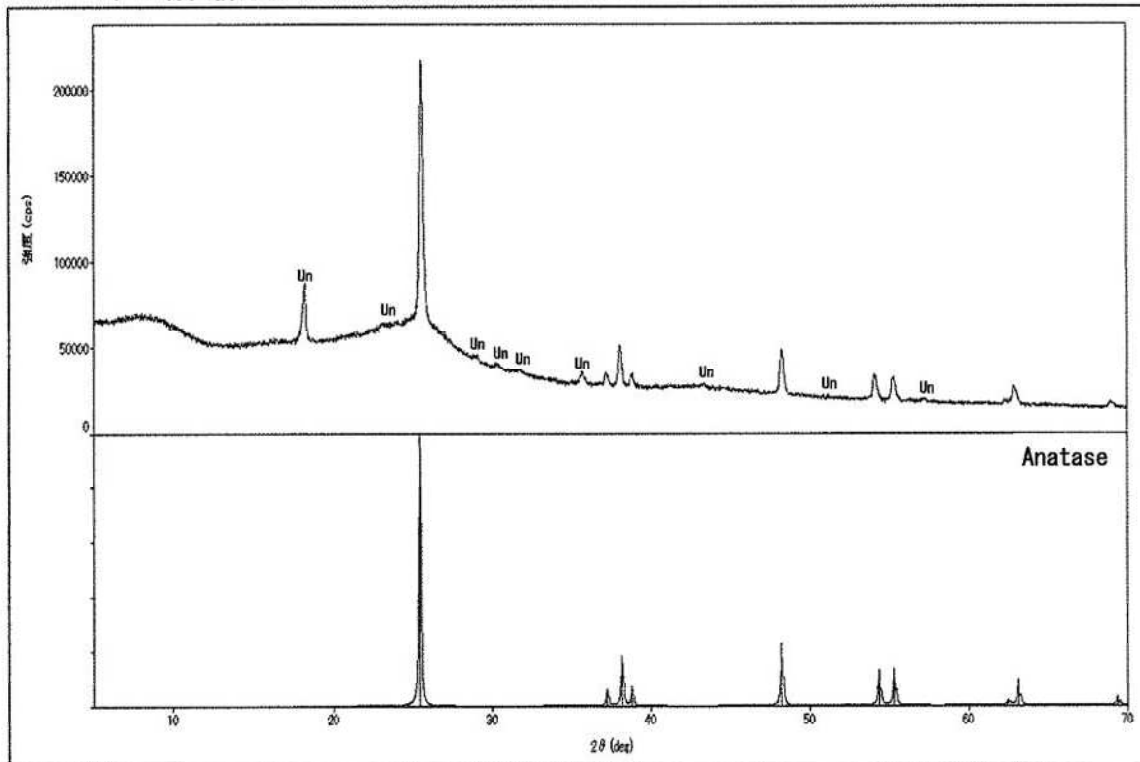
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2 θ)	5 $^{\circ}$ ~70 $^{\circ}$

試料名	⑥ビニルクロス
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:パーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Un:未同定ピーク Anatase:酸化チタン

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑥ビニルクロス
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.5°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	316	3000	0	0

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	112	1000	0	0
合計	321	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロソドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	110	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

試料名	⑥ビニルクロス
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑦フレキシブルボード		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 1階 トイレ前 壁		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロソドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑦フレキシブルボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 トイレ前 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

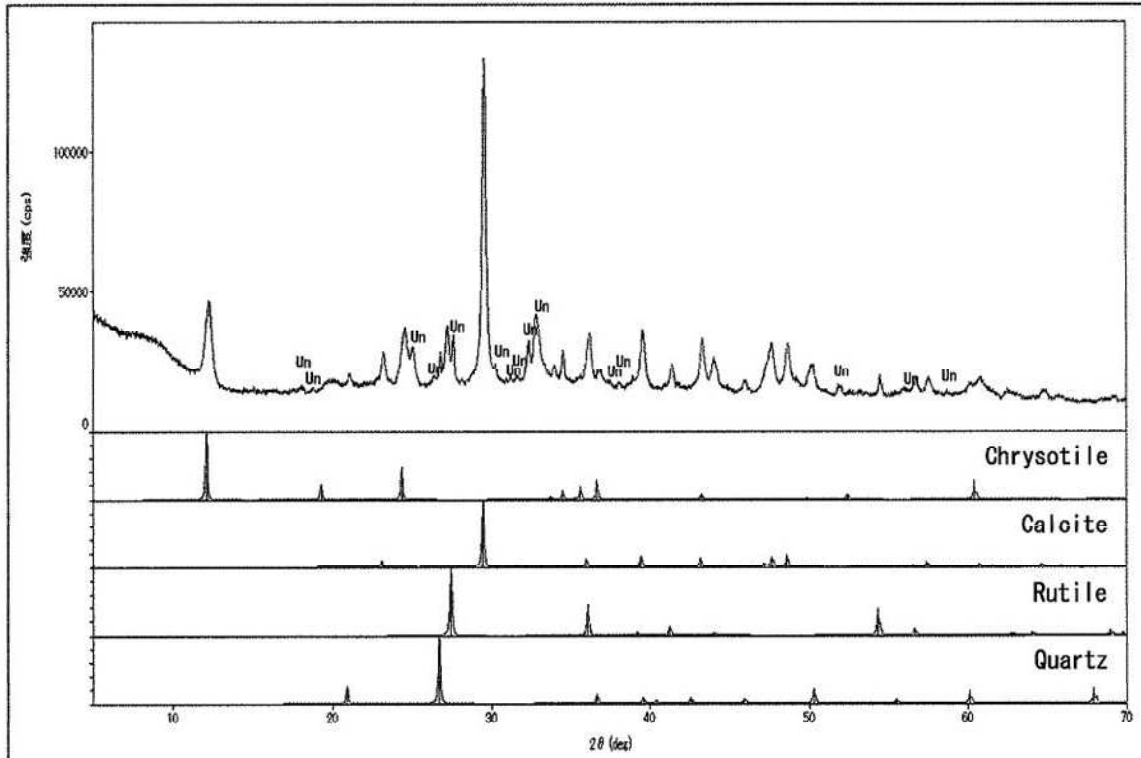
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2 θ)	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	⑦フレキシブルボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 トイレ前 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑦フレキシブルボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 トイレ前 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.6°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	44	85
2	106	1000	39	94
3	102	1000	46	93
合計	311	3000	129	272

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	317	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

試料名	⑦フレキシブルボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 トイレ前 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	有	129	有	クリソタイル含有
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑨プラスターボード		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 4階 調理実習室 壁		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑧プラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者、型式

X線回折装置製造業者、型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

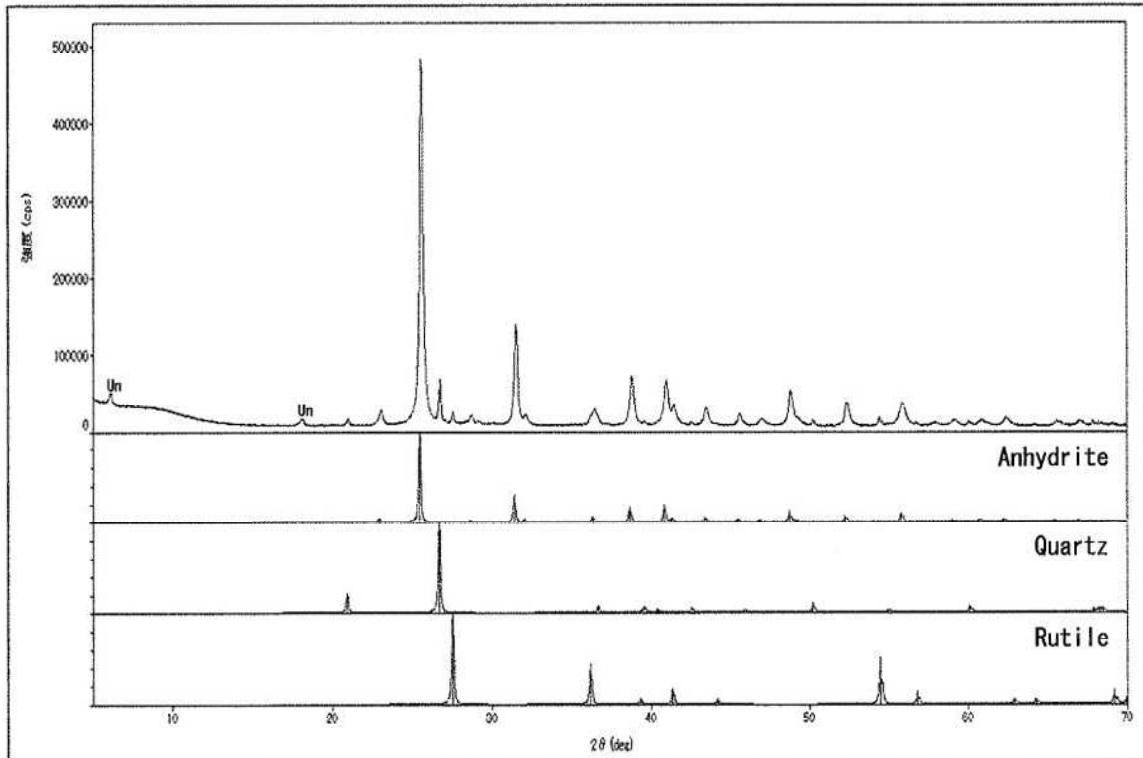
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	⑧プラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑧プラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.4°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.550$

試料	n	計数粒子数	分散色を呈した粒子数 (個数)	
No.	計数視野数	(個数)	アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	10
2	110	1000	0	11
3	102	1000	0	14
合計	321	3000	0	35

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.680$

試料	n	計数粒子数	分散色を呈した粒子数 (個数)	
No.	計数視野数	(個数)	アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.690$

試料	n	計数粒子数	分散色を呈した粒子数 (個数)	
No.	計数視野数	(個数)	アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	110	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	321	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.620$

試料	n	計数粒子数	分散色を呈した粒子数 (個数)	
No.	計数視野数	(個数)	アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	308	3000	0	0

試料名	⑧プラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	107	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	103	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	313	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	◎ラスボード		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	別館 2階 203 壁		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑨ラスボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 2階 203 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

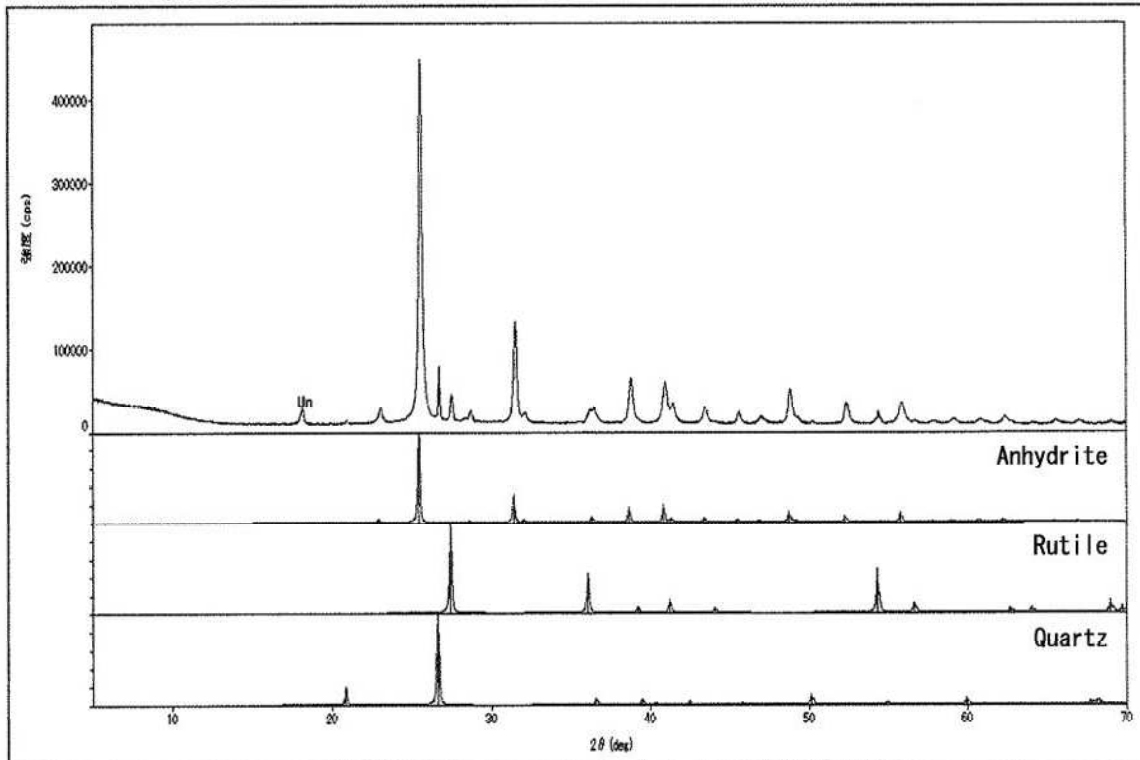
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5 $^{\circ}$ ~ 70 $^{\circ}$

試料名	⑨ラスボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 2階 203 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑨ラスボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 2階 203 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.5°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	5
2	103	1000	0	1
3	106	1000	0	3
合計	312	3000	0	9

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	320	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロソドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	110	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	317	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	310	3000	0	0

試料名	⑨ラスボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 2階 203 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	110	1000	0	0
合計	320	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	309	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑩ソフト巾木		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 1階 風除室 壁		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑩ソフト巾木
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 風除室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

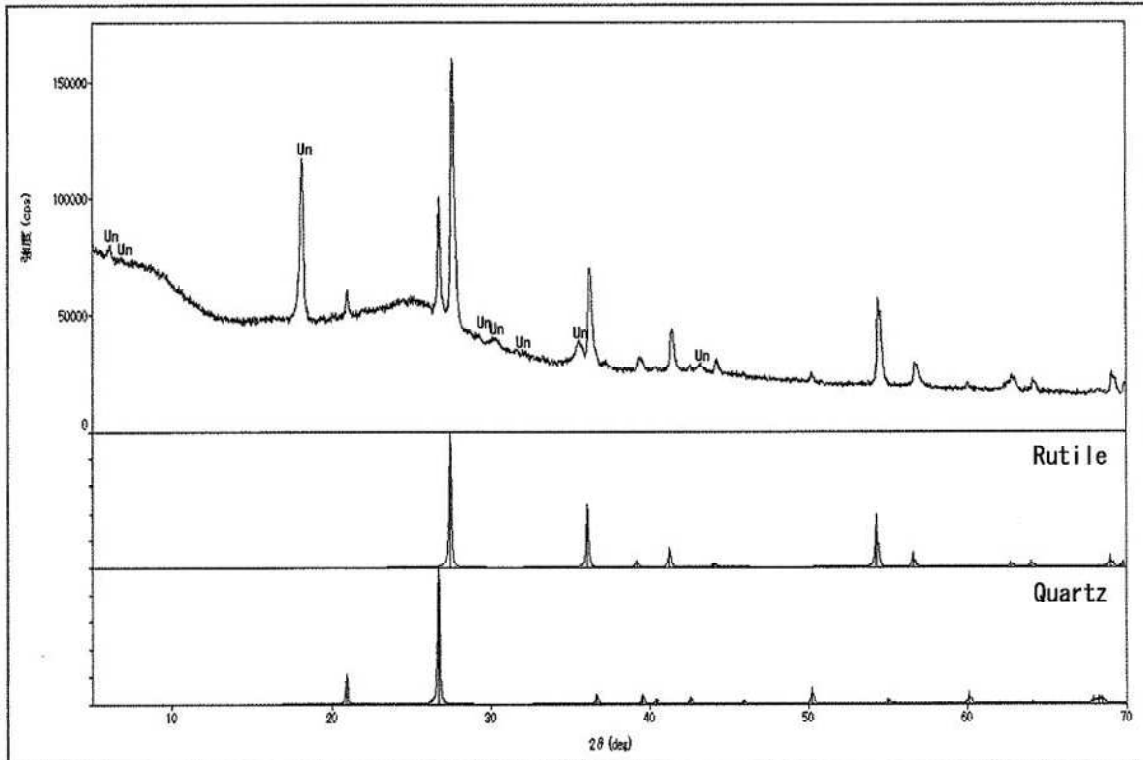
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	⑩ソフト巾木
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 風除室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑩ソフト巾木
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 風除室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.6°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	96	1000	0	10
2	106	1000	0	8
3	110	1000	0	14
合計	312	3000	0	32

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	101	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	309	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	106	1000	0	0
2	110	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

試料名	⑩ソフト巾木
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 風除室 壁
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	①長尺塩ビシート		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	別館 1階 102 床		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	①長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称 及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の 製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40X/0.75

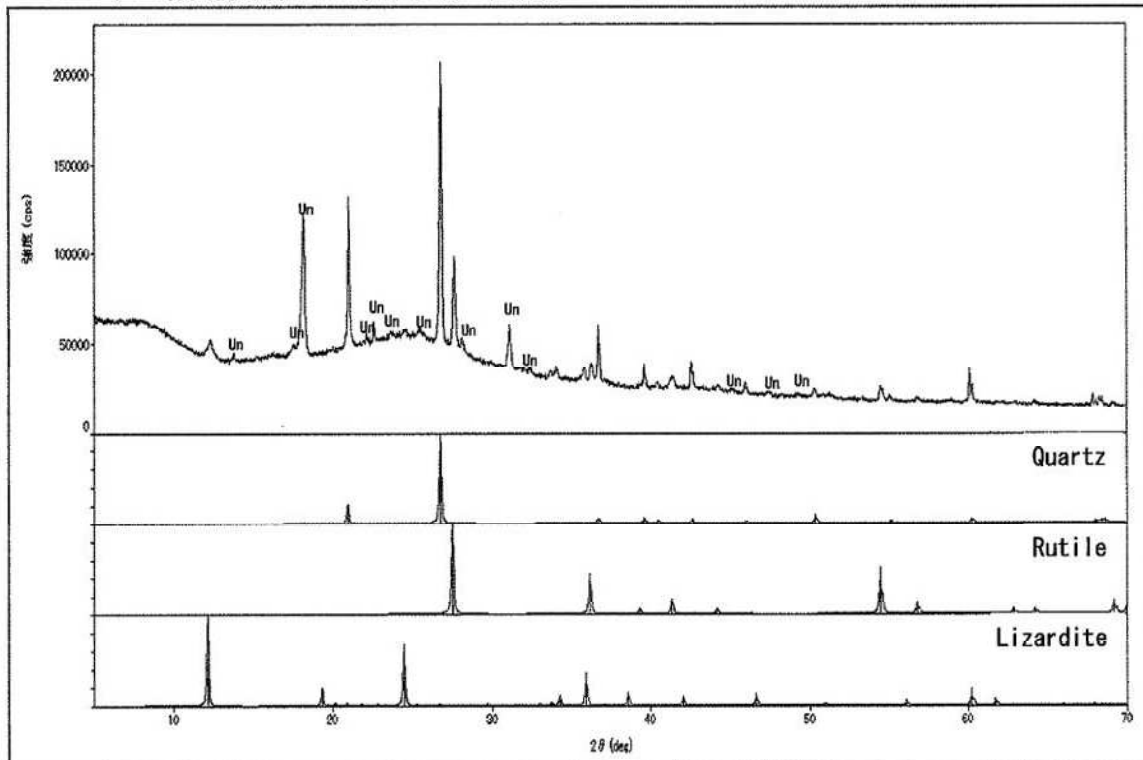
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	①長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	①長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.5°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	19
2	107	1000	0	24
3	106	1000	0	21
合計	314	3000	0	64

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	311	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	104	1000	0	0
合計	314	3000	0	0

試料名	①長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	324	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	105	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長 様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑩長尺塩ビシート		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 1階 連絡所 床		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	—	含有なし	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロシドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑫長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 連絡所 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

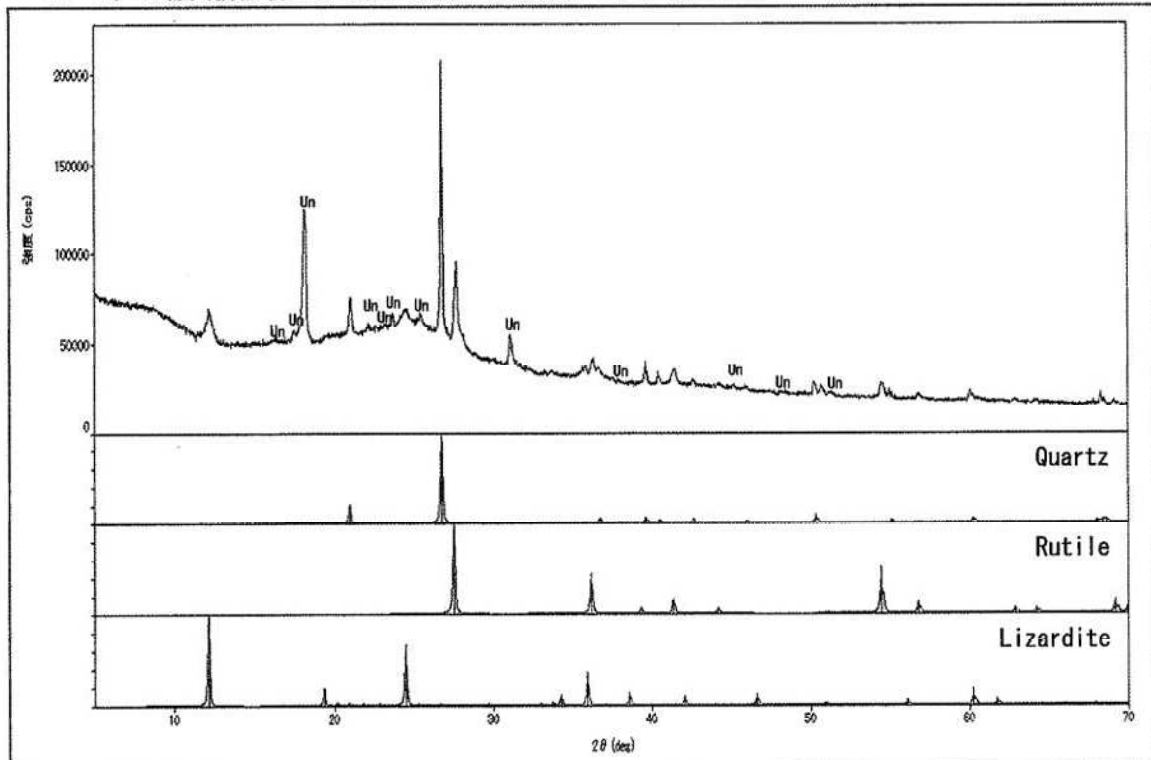
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	⑫長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 連絡所 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑫長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 連絡所 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.5°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	31
2	105	1000	0	24
3	103	1000	0	29
合計	310	3000	0	84

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	110	1000	0	0
合計	327	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロシドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	104	1000	0	0
3	101	1000	0	0
合計	306	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	320	3000	0	0

試料名	⑫長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 連絡所 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	107	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑩長尺塩ビシート		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 1階 廊下 床		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリソタイル	-	含有なし	備考(1)
アモサイト	-	含有なし	備考(1)
クロシドライト	-	含有なし	備考(1)
トレモライト	-	含有なし	備考(1)
アクチノライト	-	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	-	含有なし	備考(1)
-以下余白-			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑬長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 廊下 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

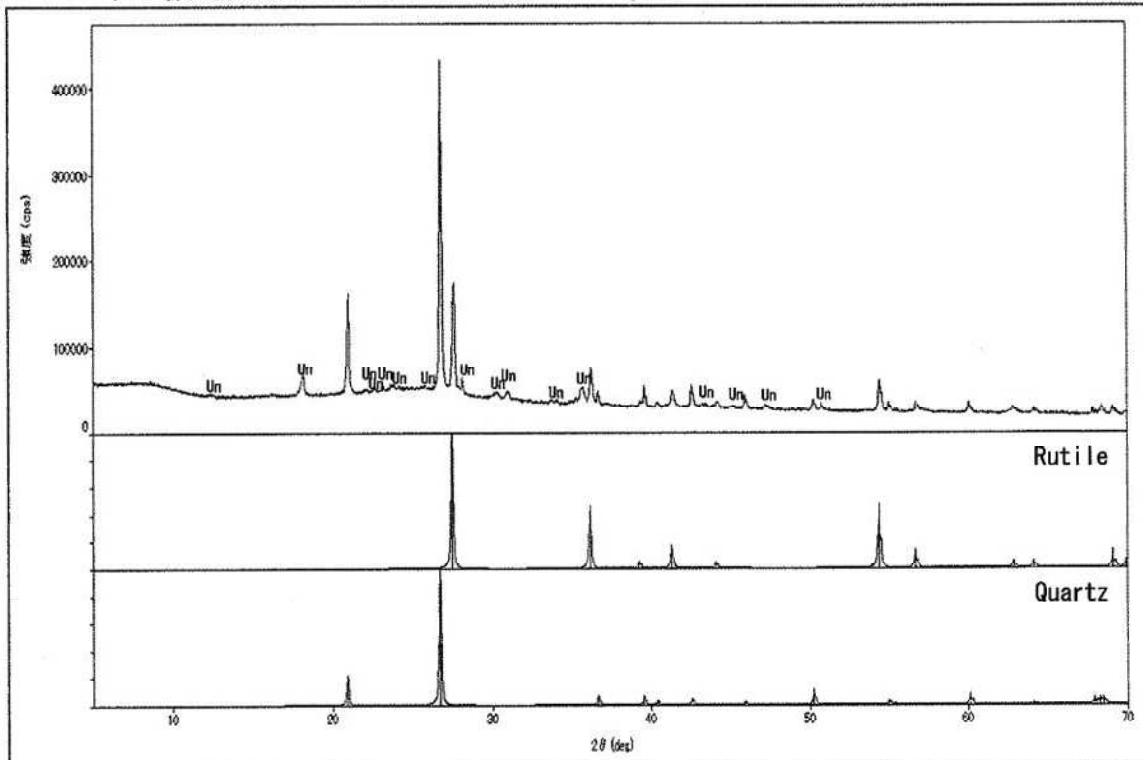
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	⑬長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 廊下 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑬長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 廊下 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.5°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	108	1000	0	25
2	102	1000	0	19
3	102	1000	0	18
合計	312	3000	0	62

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	312	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロソドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	0	0
2	110	1000	0	0
3	106	1000	0	0
合計	317	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ\text{C}} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

試料名	⑬長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 廊下 床
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	102	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	108	1000	0	0
合計	319	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	103	1000	0	0
2	105	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	310	3000	0	0

2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	無
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	無	0	無	無
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

新潟市長

様

試験成績書

令和元年12月23日 付ご依頼の試験結果は、
下記のとおりであったことを報告いたします。

試験責任者

試料名	⑭ダクトパッキン		
施設名	旧北部総合コミュニティセンター		
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1		
採取箇所	本館 1階 発電機室		
採取年月日	令和元年12月23日		
採取者	検査機関		
特記事項			
石綿	単位	定性結果	試験の方法
クリンタイル	—	含有	備考(1)
アモサイト	—	含有なし	備考(1)
クロソドライト	—	含有なし	備考(1)
トレモライト	—	含有なし	備考(1)
アクチノライト	—	含有なし	備考(1)
アンソフィライト	—	含有なし	備考(1)
—以下余白—			
備考	(1) JIS A 1481-2:2016 建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部：試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法 件名：旧北部総合コミュニティセンター解体工事に係るアスベスト含有調査		

試料名	⑭ダクトパッキン
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 発電機室
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

一次分析試料の作成方法（試料粉碎方法）

粉碎に使用した粉碎器の名称及び形式	粉碎器の名称	ボールミル
	粉碎器の製造業者・形式	フリッチュ ミニミルP-23
標準ふるいの目開き	425 μ m	

使用した測定機器

1) X線回折装置製造業者, 型式

X線回折装置製造業者, 型式	製造業者	リガク
	形式	Ultima IV (Protectus)

2) 位相差・分散顕微鏡の型式

顕微鏡の製造業者・型式	製造業者	ニコン
	形式	ECLIPSE 80iTP-DSPH
照明系	形式	12V100Wロングライフハロゲンランプ
コンデンサ	形式	C-C Phコンデンサ
対物レンズ	形式	PlanFluor40 \times /0.75

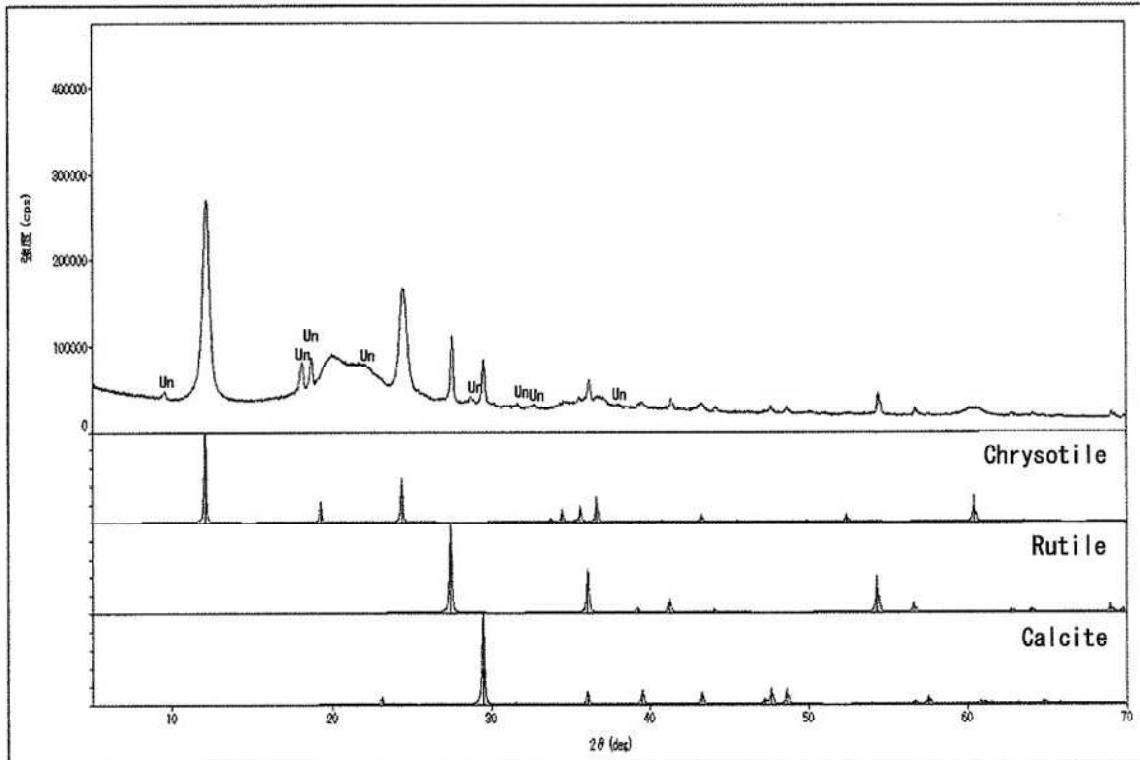
判定結果

1) X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K β 線の除去)	K β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 ($^{\circ}$ /min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット ($^{\circ}$)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 ($^{\circ}$, 2θ)	5° ~ 70°

試料名	⑭ダクトパッキン
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 発電機室
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

1. 1) X線回折分析による定性分析 回折線プロファイル



「ピーク記号」

Chrysotile:クリソタイル Grunerite:アモサイト Riebeckite:クロシドライト
Tremolite/Actinolite:トレモライト/アクチノライト Anthophyllite:アンソフィライト
Calcite:カルサイト Quartz:石英 Tridymite:トリジマイト Cristobalite:クリストバライト
Vermiculite:バーミキュライト Hydrobiotite:ハイドロバイオタイト Brucite:ブルーサイト
Sepiolite:セピオライト Chlorite:クロライト Mica:マイカ Illite:イライト Feldspar:長石
Anhydrite:硬石膏 Rutile:酸化チタン Lizardite:リザルダイト Un:未同定ピーク

「注意事項」 (2θ) 5° ~ 70° のX線回折プロファイルを添付。

1. 2) X線回折分析による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト/アクチノライト	無
アンソフィライト	無

試料名	⑭ダクトパッキン
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 発電機室
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

2) 位相差・分散顕微鏡による定性分析

2. 1) 分析室の温度

分析室の温度 (°C)	24.5°C (サーモプレート温度 25.0°C)
-------------	---------------------------

2. 2) 分析結果記入欄

・アスベストの種類 (クリソタイル) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.550$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	101	1000	63	20
2	102	1000	59	23
3	108	1000	58	26
合計	311	3000	180	69

・アスベストの種類 (アモサイト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.680$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	105	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	102	1000	0	0
合計	315	3000	0	0

・アスベストの種類 (クロソドライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.690$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	109	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	316	3000	0	0

・アスベストの種類 (トレモライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.620$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	104	1000	0	0
2	102	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	309	3000	0	0

試料名	⑭ダクトパッキン
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 発電機室
採取年月日	2019年12月23日
採取者	検査機関

・アスベストの種類 (アクチノライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.626$ 又は 1.628

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	107	1000	0	0
2	108	1000	0	0
3	103	1000	0	0
合計	318	3000	0	0

・アスベストの種類 (アンソフィライト) 屈折率 $n_D^{25^\circ C} = 1.618$

試料 No.	n	計数粒子数 (個数)	分散色を呈した粒子数 (個数)	
			アスペクト比3以上の繊維状粒子数	粒子数
1	109	1000	0	0
2	106	1000	0	0
3	109	1000	0	0
合計	324	3000	0	0

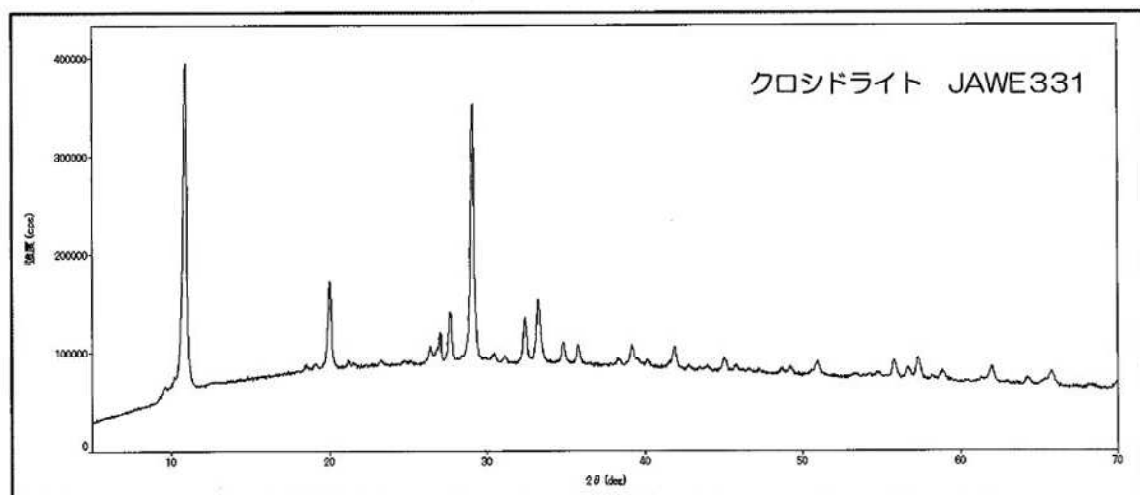
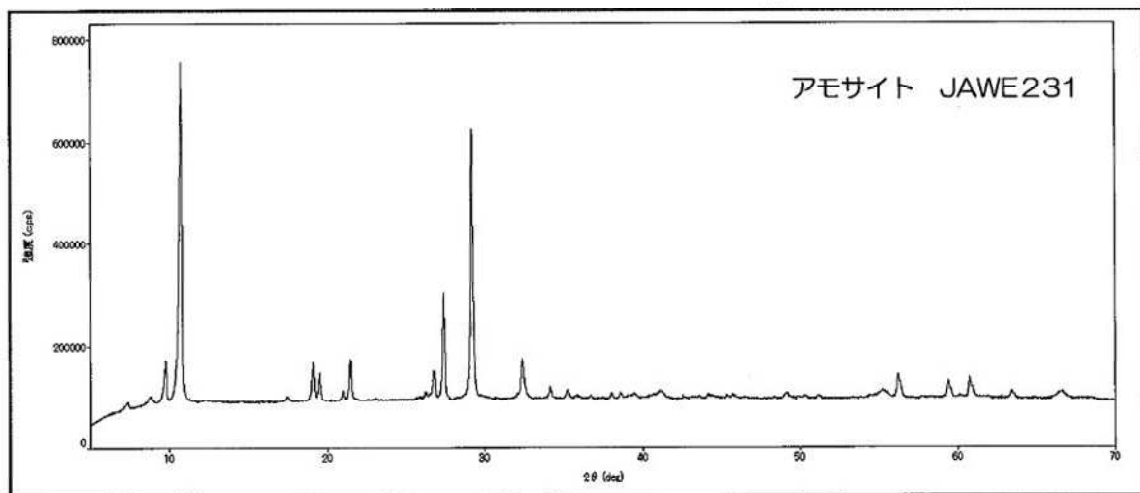
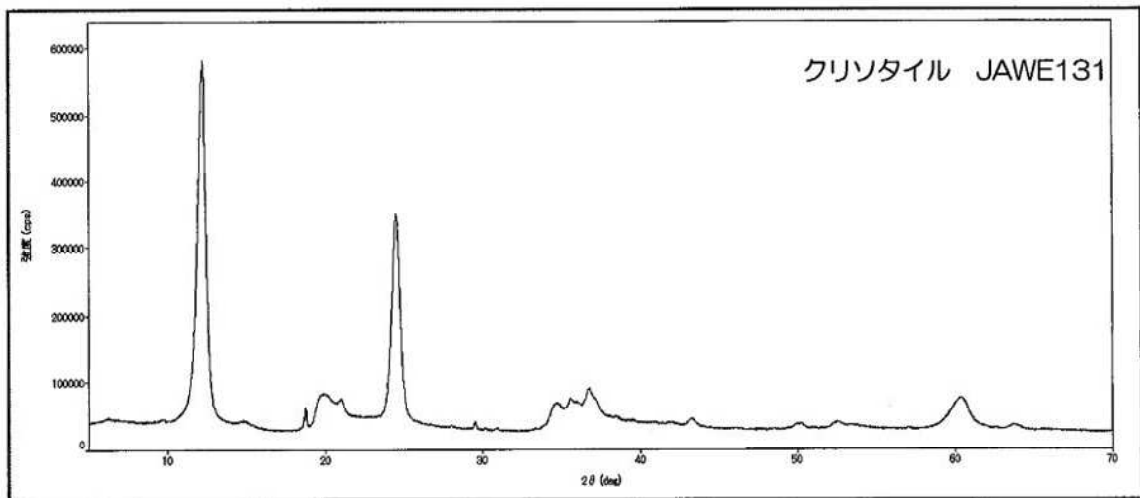
2. 3) 位相差・分散顕微鏡による定性分析結果

アスベストの種類	定性分析結果
クリソタイル	有
アモサイト	無
クロシドライト	無
トレモライト	無
アクチノライト	無
アンソフィライト	無

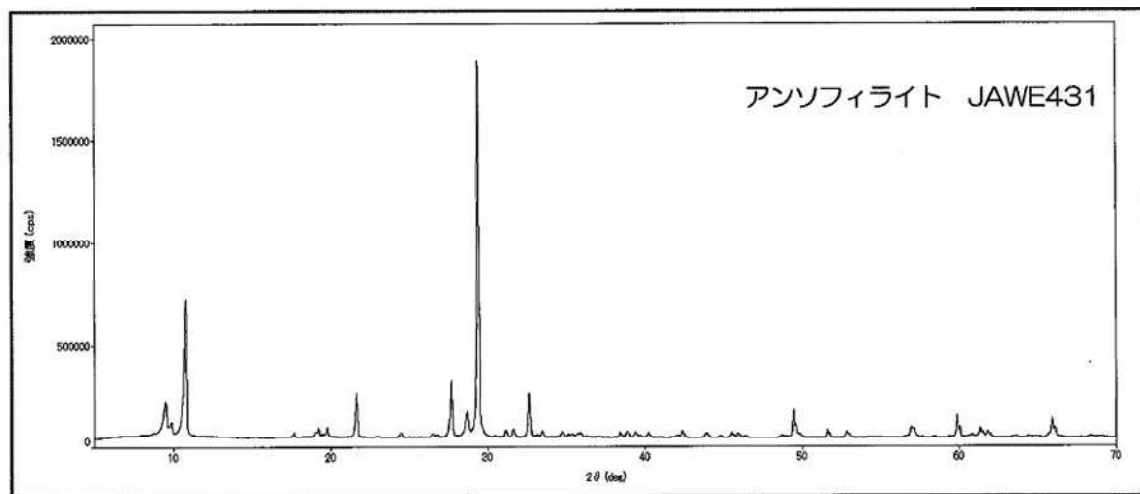
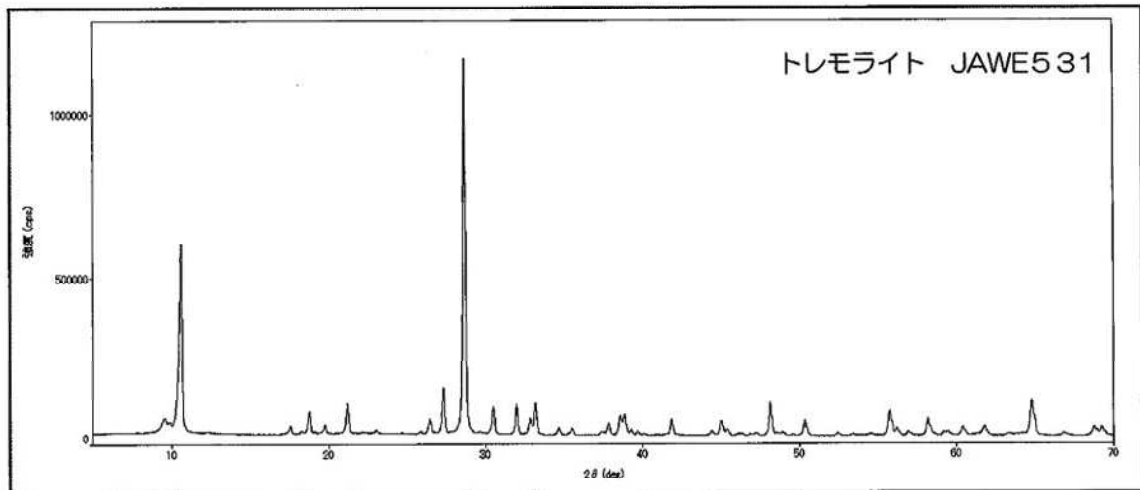
3) X線回折分析方法及び位相差・分散顕微鏡の定性分析結果に基づく最終判定結果

アスベストの種類	定性分析結果			アスベスト含有最終判定結果
	X線回折分析法	分散染色法		アスベスト含有の有無
	回折線ピークの有無	3000粒子中のアスペクト比3以上の繊維状粒子数	アスベストの有無	
クリソタイル	有	180	有	クリソタイル含有
アモサイト	無	0	無	無
クロシドライト	無	0	無	無
トレモライト	無	0	無	無
アクチノライト		0	無	無
アンソフィライト	無	0	無	無

分析対象アスベストのX線回折パターン



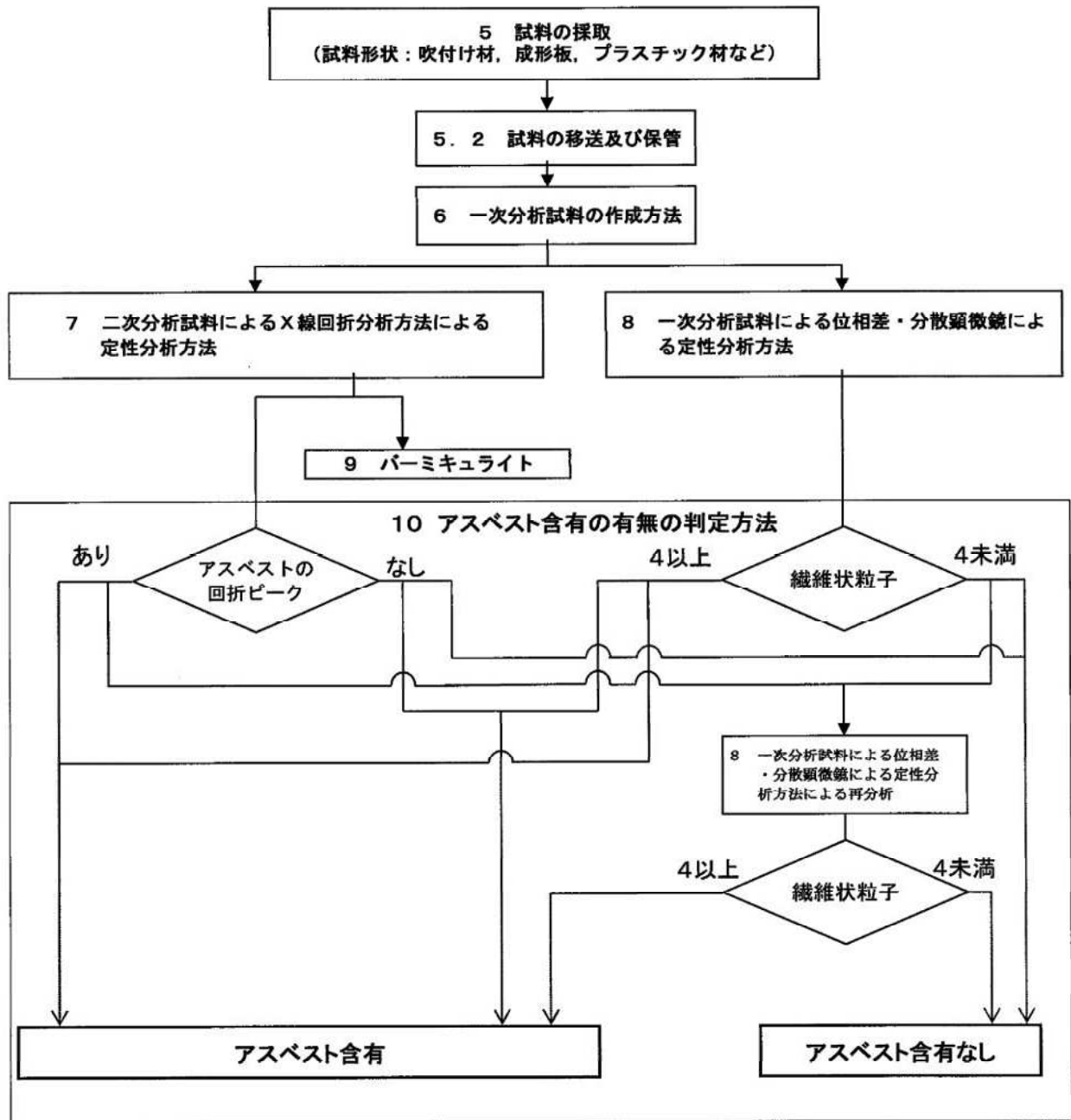
分析対象アスベストのX線回折パターン



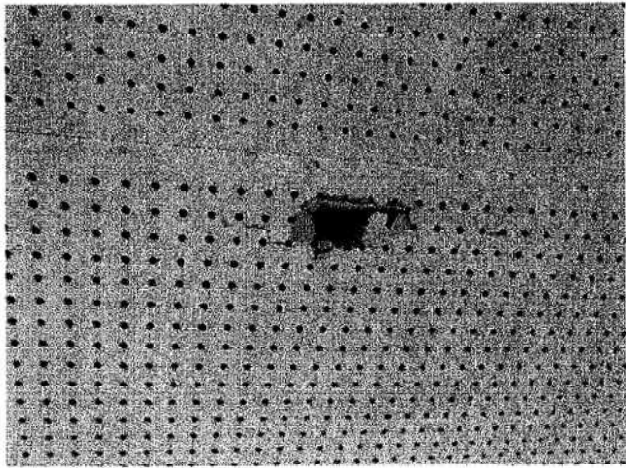
X線回折装置の定性条件

設定項目	測定条件
X線対陰極	Cu
管電圧 (kV)	40
管電流 (mA)	40
単色化 (K _β 線の除去)	K _β フィルター
検出器	D/tex Ultra
フルスケール (cps)	オートスケール
時定数 (s)	—
走査速度 (°/min)	10
発散縦制限スリット (mm)	10.00
発散スリット (°)	1/2
散乱スリット (mm)	8.00
受光スリット (mm)	解放
走査範囲 (°, 2θ)	5° ~ 70°

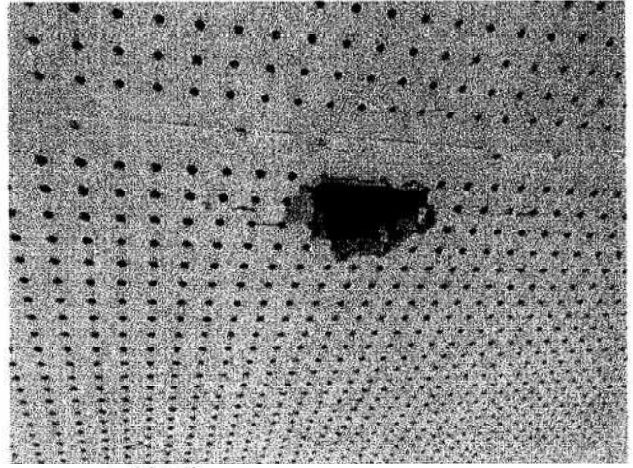
建材製品中のアスベスト含有の有無の定性分析方法及び判定方法のフロー
 JIS A 1481-2



試料名	①有孔石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	体育館棟 1階 天井
採取年月日	2019年12月23日

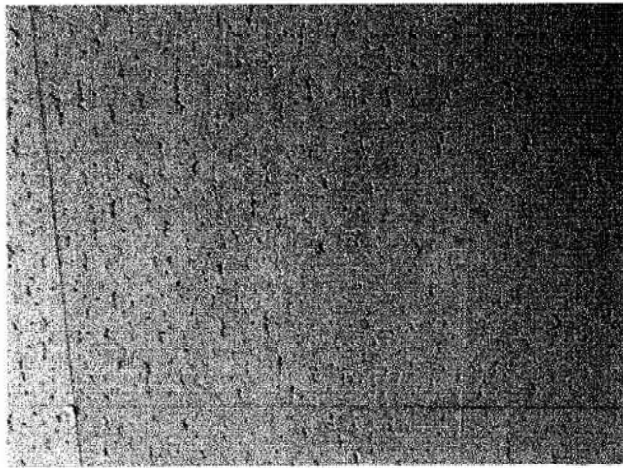


採取前

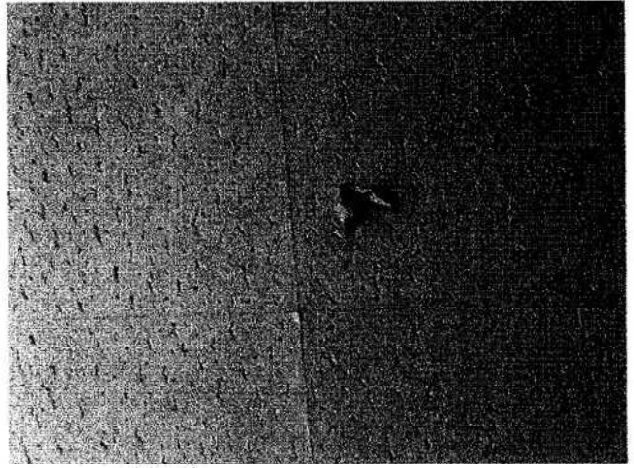


採取後

試料名	②石膏ボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 トイレ 天井
採取年月日	2019年12月23日

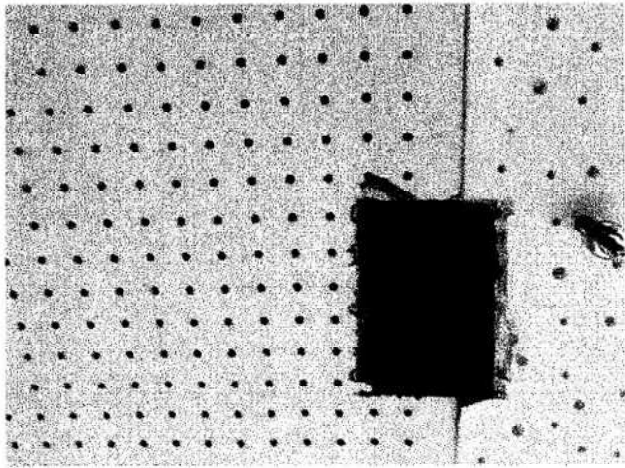


採取前

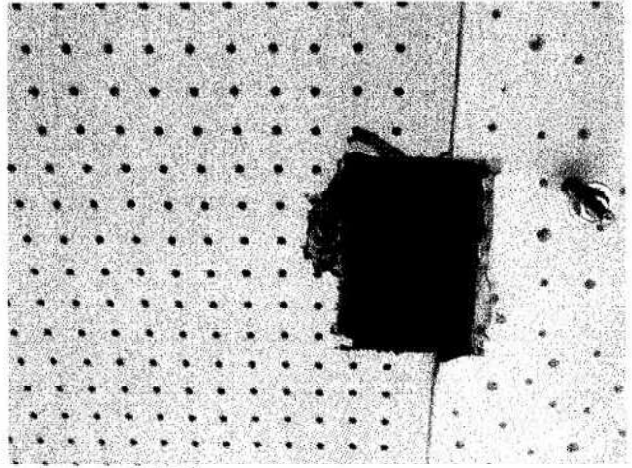


採取後

試料名	③穴あきプラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 図書館 天井
採取年月日	2019年12月23日

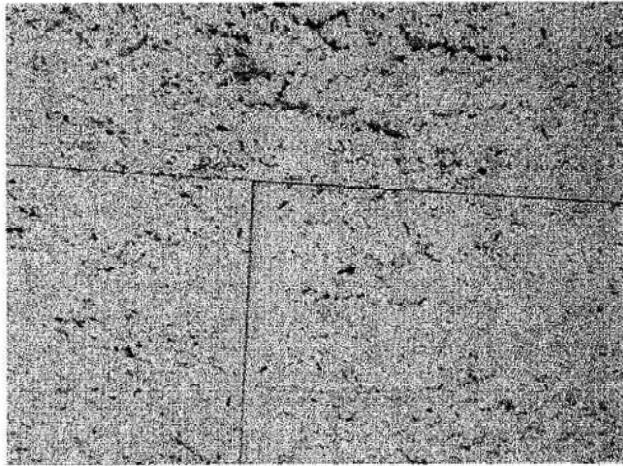


採取前

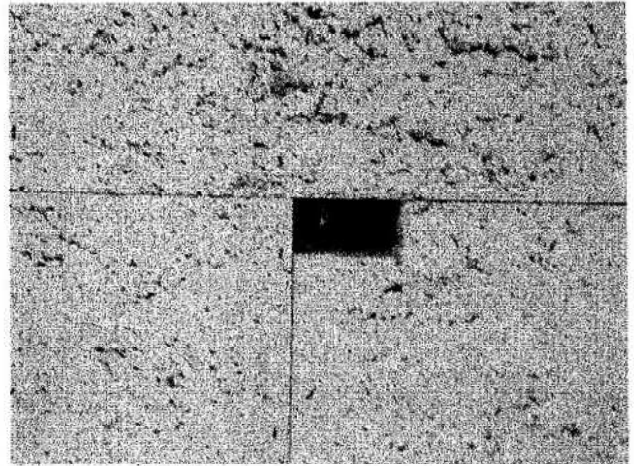


採取後

試料名	④ロックウール吸音板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 2階 児童お話し室 天井
採取年月日	2019年12月23日

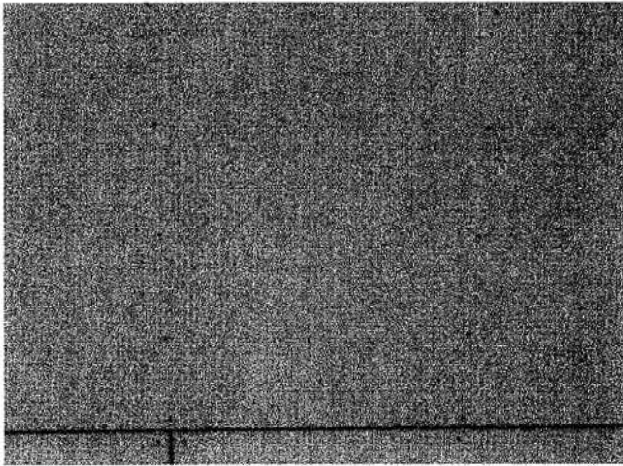


採取前

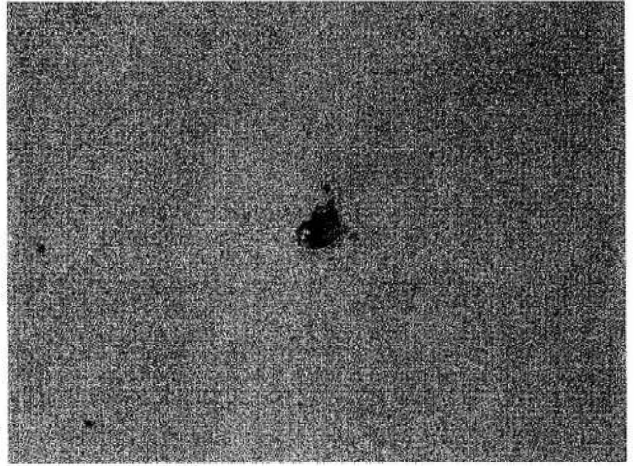


採取後

試料名	⑤ケイ酸カルシウム板
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 天井
採取年月日	2019年12月23日

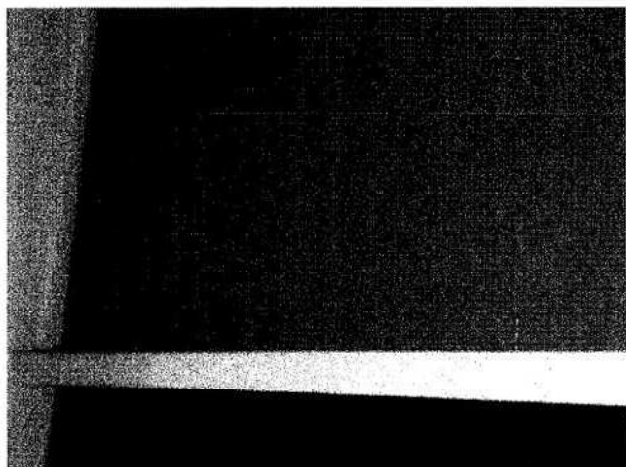


採取前

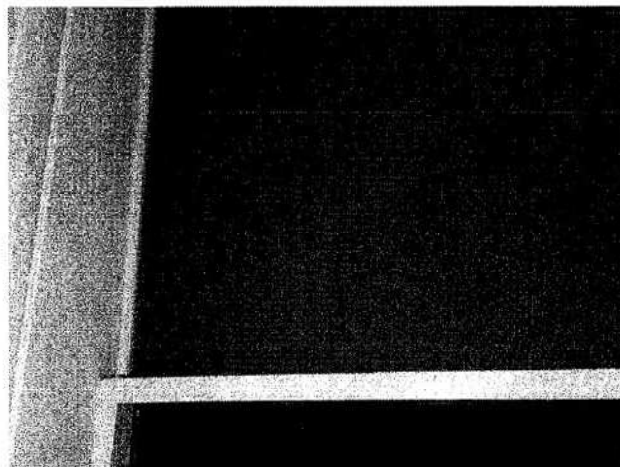


採取後

試料名	⑥ビニルクロス
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 壁
採取年月日	2019年12月23日



採取前

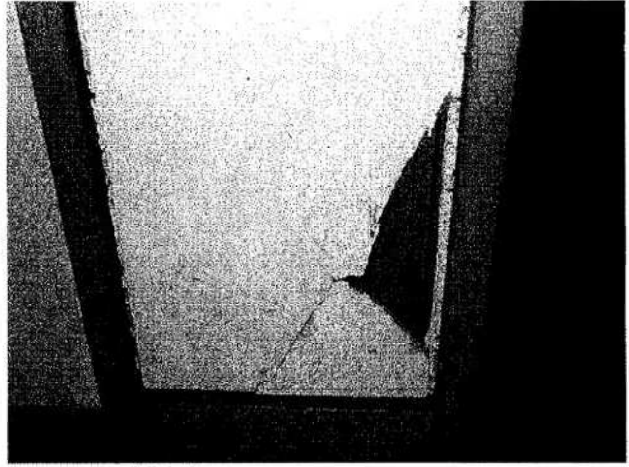


採取後

試料名	⑦フレキシブルボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 トイレ前 壁
採取年月日	2019年12月23日

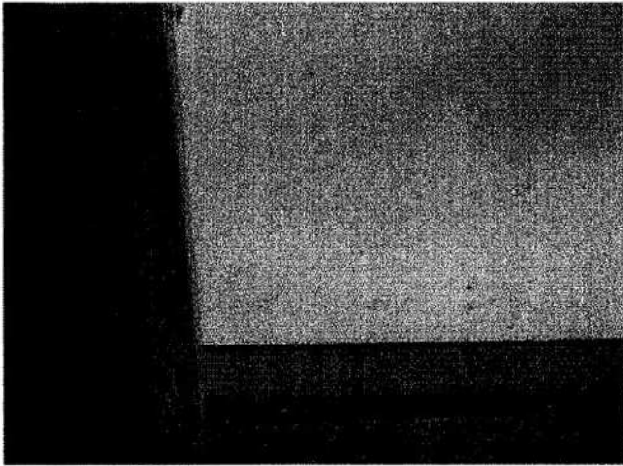


採取前

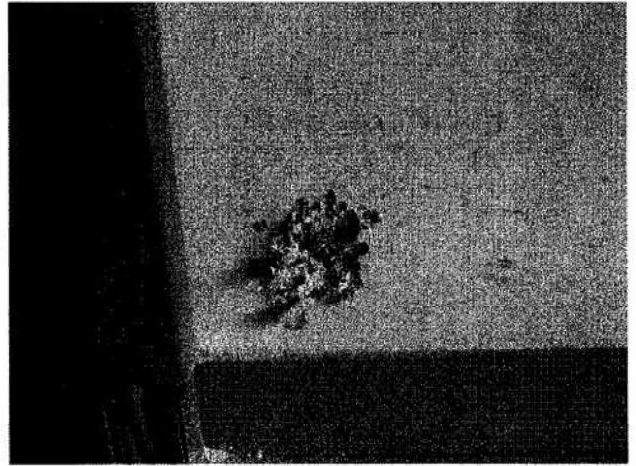


採取後

試料名	⑧プラスターボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 4階 調理実習室 壁
採取年月日	2019年12月23日



採取前

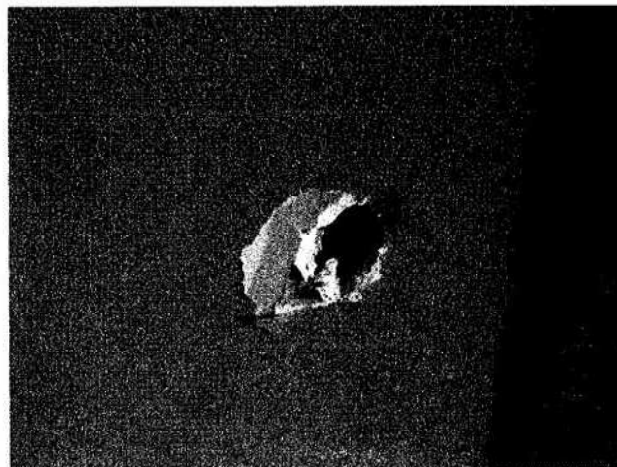


採取後

試料名	⑨ラスボード
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 2階 203 壁
採取年月日	2019年12月23日



採取前



採取後

試料名	⑩ソフト巾木
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 風除室 壁
採取年月日	2019年12月23日

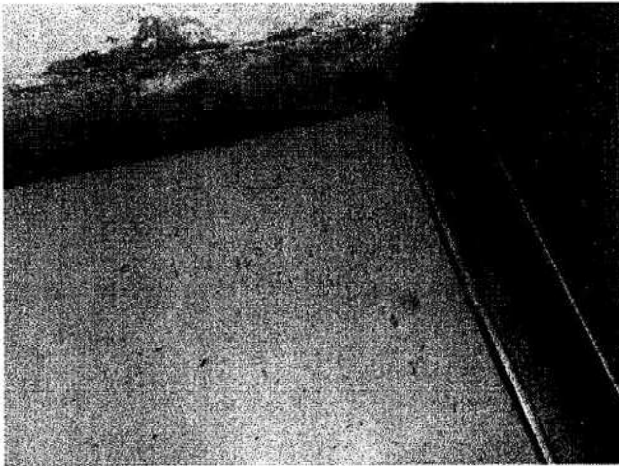


採取前

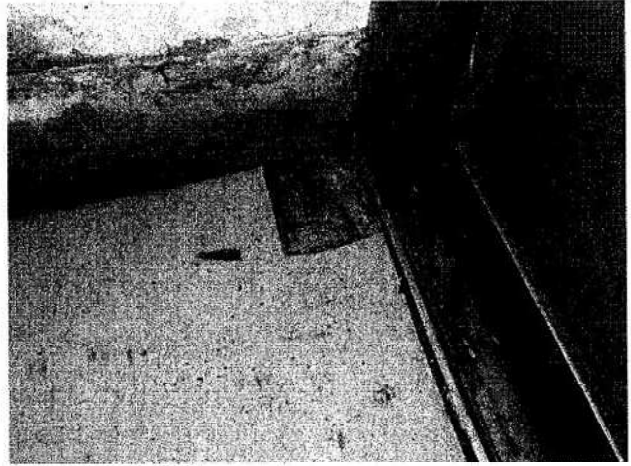


採取後

試料名	①長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	別館 1階 102 床
採取年月日	2019年12月23日

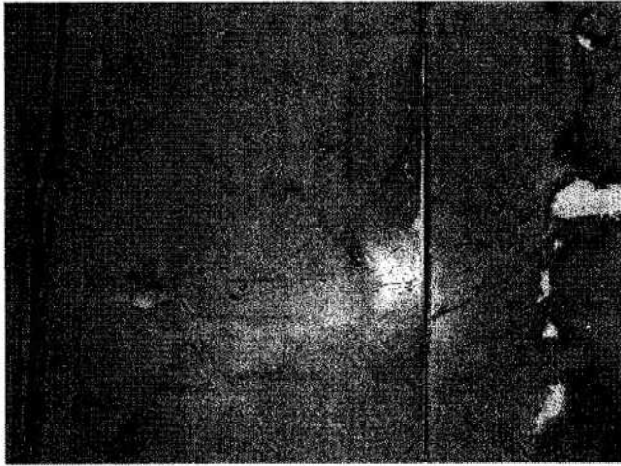


採取前

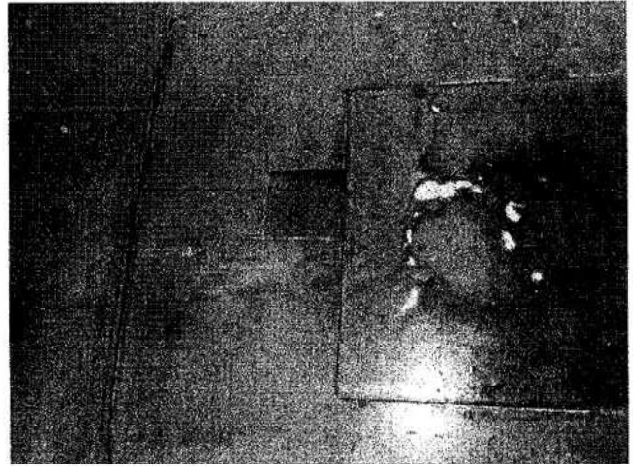


採取後

試料名	⑫長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 連絡所 床
採取年月日	2019年12月23日

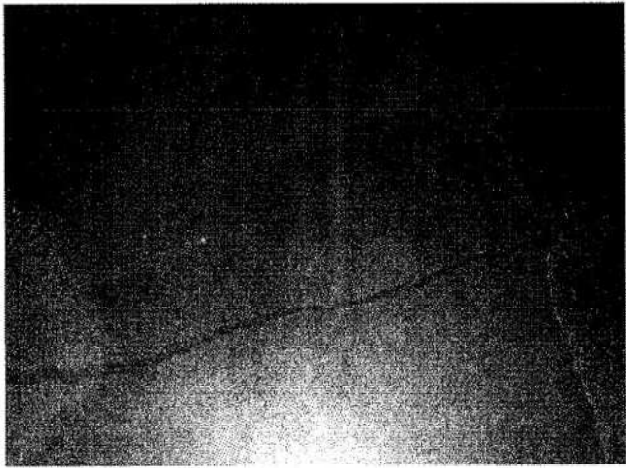


採取前

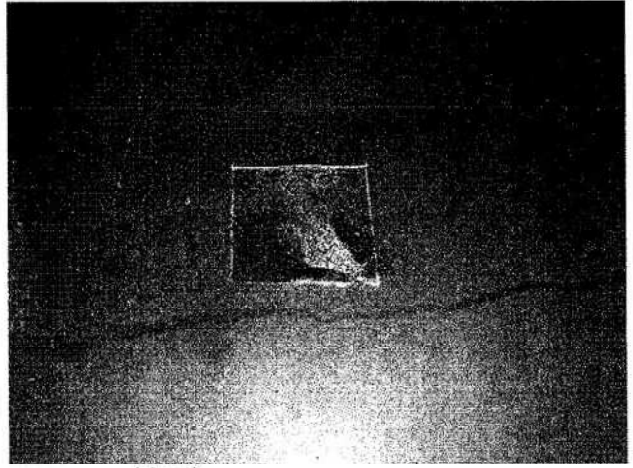


採取後

試料名	⑬長尺塩ビシート
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 廊下 床
採取年月日	2019年12月23日

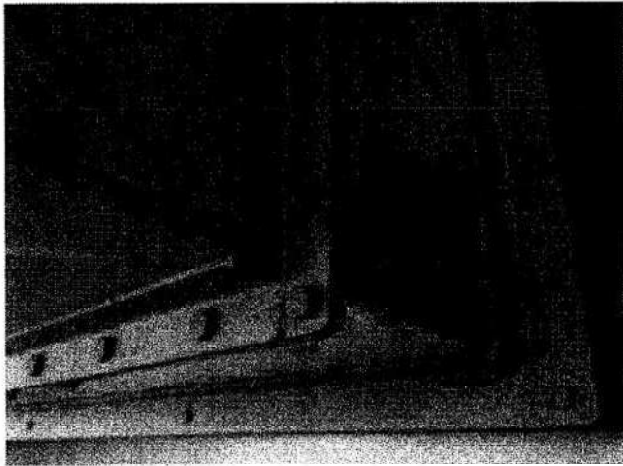


採取前

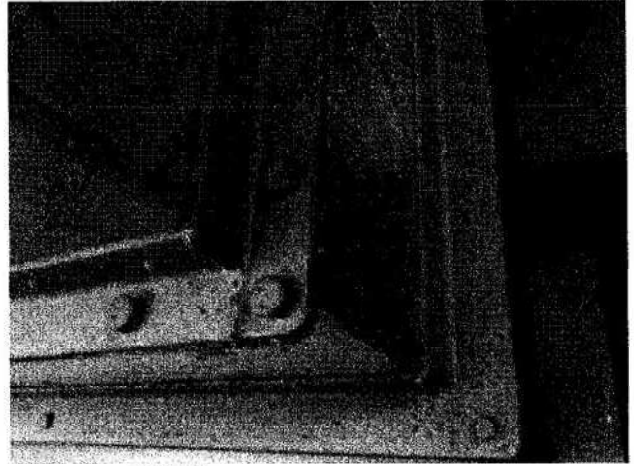


採取後

試料名	⑭ダクトパッキン
施設名	旧北部総合コミュニティセンター
採取場所	新潟市中央区附船町1丁目4385番地1
採取箇所	本館 1階 発電機室
採取年月日	2019年12月23日



採取前



採取後